

令和6年第5回（11月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、令和6年第5回（11月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

11月2日、市制施行20周年を記念して、ゆめトピア長船にて瀬戸内市誕生20周年記念式典を開催しました。式典には、国会議員、県議会議員、県内の市長、議長をはじめ、友好交流都市である大韓民国密陽市長や姉妹都市である対馬市長、瀬戸内市の発展にご尽力いただいた方々など市内外から約400人にご来臨いただきました。

併せて、令和6年度の市政の各分野で功労のあった方、善行のあった方の表彰や、記念アトラクションとして、「市民の想いが瀬戸内市を動かしていく」というメッセージが込められた記念映像の上映、せとうちこども合唱団ティンカーベルの歌とせとうちPR大使 馬場桜佑さんの演奏による、「ありがとうの花」が感謝の思いを込めて歌われました。

また、学校法人角川ドワンゴ学園理事長の山中伸一氏による「教育が作る、瀬戸内市の未来」と題した記念講演が行われました。さらに、中学生、高校

生による、「未来をつくる、私たちの想い」をテーマにトークセッションを行い、それぞれ地域に対する想いや将来に向けた決意表明が行われました。

20周年という節目の年をともに祝っていただいたすべての皆さまに、改めて感謝を申し上げます。

今後も市民の皆さまのお力添えをいただきながら、次代を担う世代が、「瀬戸内市で暮らしたい、暮らし続けたい」と思えるまちづくりを推進していきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

○ 総合防災訓練について

11月17日に長船中学校を会場として、水害を想定した総合防災訓練を実施しました。実際の避難手順や安全確保のための行動を確認し、万一の事態が起きた場合でも冷静に対処できるよう、地域住民の避難訓練、消防本部、消防団等による避難誘導や救助訓練を行いました。

また、体育館において国府小学校区の住民の方に作成していただいた、避難所図面を使って避難所運営訓練を行い、住民主体の避難所運営を円滑かつ適切に実施できるようにするためのスキルと知識の習得に取り組みました。参加者からは「避難所のレイアウトの仕方や注意しなければならないことがよく理解できた。備蓄品の準備など自助の大切さを学んだ。」などの声

をいただいています。

今後も、災害に強い地域づくりを進めるため、自治会又は学校区等を単位とした自主防災組織の結成を促進するとともに、地域における防災訓練等を支援することで、市民一人一人の防災意識が高められるよう進めていきます。

○ ごみの減量化の取組について

ごみの減量化・資源化、ごみ処理のあり方などを検討することを目的として、今年度1回目となる瀬戸内市循環型社会づくり等推進検討委員会を10月1日に開催しました。

人口が減少傾向にある一方で、ごみ処理施設のメンテナンス費用や燃料費の高騰など、ごみ処理に係る費用が増加傾向にある現状を踏まえた上で、ごみ減量を更に推進するための施策などを、来年度に向けて検討していくこととしています。

法改正によりプラスチック使用製品廃棄物の分別収集が自治体の努力義務となったことから、既に分別収集しているプラスチック製容器包装に加えて、その他のプラスチック使用製品を一括回収するための仕組みづくりを、来年度に向けて検討していくこととしています。

分別・資源化できる品目を更に増やすことにより、「ごみ減量30%」の

目標達成に向けた取組を推進していきます。

○ 人と猫が幸せに暮らせるまちづくりについて

本市では、飼い主のいない猫、いわゆる野良猫による生活環境への悪影響が地域課題となっていることから、野良猫の増加を抑制することを目的として不妊去勢手術をボランティアで行う市民に対して、手術費用の一部を補助する制度を設けています。

この取組の財源は、この取組を応援してくださる皆さんから寄せられる寄付金となっています。

取組開始から5年目となる今年度も、目標金額500万円を掲げ、10月21日から来年1月18日までの期間で、クラウドファンディングを開始しました。

先日、映画「五香宮の猫」上映中の映画館でも、この取組みをPRさせていただきました。

引き続き、人と猫が幸せに暮らせるまちを目指していきます。

○ 新火葬場整備事業について

新火葬場整備事業については、来年3月の完成に向けて建築工事を進めており、概ね計画どおり進捗していますが、工事の原契約を締結した令和4

年以降、賃金や物価が高騰していることから、物価水準の変動と工事内容の見直しによる増減を反映させた変更契約を行う予定としています。

また、令和7年4月の供用開始から、施設の管理運営を行う指定管理者について、公募による候補者選考の手続が完了したところです。

今議会に、関連議案を提出しています。

○ゼロカーボン施策について

本市では、環境省の交付金事業である脱炭素先行地域づくり事業を活用し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めています。

取組の一環として、瀬戸内市民電力株式会社による公共施設への太陽光発電設備の設置をP P Aにより進めていくこととしており、今年度は、クリーンセンターかもめ、長船衛生センター、玉津コミュニティセンターの3施設に設置します。

現在、瀬戸内市民電力株式会社による業者選定が終わり、年度内の完了を目指して、工事着手の準備を進めているところです。

○ すくすくチャイルドサポート事業助成対象用品の拡充について

子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもの健やかな成長の支援を目的に実施している、すくすくチャイルドサポート事業について、11月1日から

これまでの助成対象 9 品目に加え、離乳食関連用品、歯磨き関連用品等 19 品目を助成対象に追加することとしました。

今後も、当事業をはじめとした子育て施策の充実に努めていきます。

○ アイリスオーヤマ株式会社との立地協定及び包括連携協定の締結について

11月14日に、第2宮下産業団地への企業誘致を進めていましたアイリスオーヤマ株式会社と、正式に立地協定を締結しました。同社は、当地において、令和8年には物流倉庫を稼働させ、令和11年にはパックご飯の製造を開始する予定としております。今後、地域経済の活性化を図るために、特に、雇用の創出や物資の地元調達等、連携・協力していきます。

また、同社と相互の資源を活用した連携を図り、地域社会の発展や課題解決、人材の育成に寄与し、市民サービスの向上や地域の活性化を図ることを目的として、同日、包括連携協定を締結しました。今後、同社の持つ見識を、産業振興の分野だけでなく、防災・減災に関すること、持続可能なまちづくりに関することなどで取り入れ、市民サービスの向上や地域の活性化につなげていきたいと考えています。

なお、今議会に関連議案を提出しています。

○ 上下水道料金のキャッシュレス決済、コンビニ収納の導入について

利用者の利便性向上と収納・会計業務のD X化及び料金収納率の向上を目的に、令和7年1・2月分の水道料金及び下水道使用料から、キャッシュレス決済やコンビニ収納サービスを新たに導入します。今後、広報紙やホームページ等で利用者の方々に周知を図ることとしています。

○ おかやま教育週間について

岡山県では、学校、家庭、地域が一体となって「地域の子どもは地域が育てる」という機運を盛り上げるため、毎年11月1日から7日までを「おかやま教育週間」としています。

本市では、おかやま教育週間にあわせて、10月から11月にかけて、授業参観に加え、文化祭や学習発表会などの学校公開を行っています。

また、キャリア教育実践の場として、中学生が地域へ出て職場体験をする活動も行っています。職場体験を通して、地域の方とも一体となって、子どもたちの学びをより豊かなものにすることができています。

○不登校の児童生徒への対応について

10月31日に、令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について、文部科学省から通知がありました。国公

立、私立の小・中学校の不登校児童生徒数、学校内外で相談を受けていない児童生徒数、30日以上欠席している児童生徒数は過去最多を更新しました。本市の状況は、小学校では過去最多、中学校では微増という結果でした。

令和4年度に調査結果とともに出された緊急対策を受け、「不登校の児童生徒全ての学びの場の確保」や「心の小さなSOSの早期発見」について、対策を講じているところです。教育支援センターでは、のぞみ教室で心の休養と安心して過ごせる居場所づくりを進め、社会的自立を目指して教育相談室で電話や来所、家庭訪問等による相談活動や個別支援を行っています。また、一人一台端末を用いて児童生徒がSOSを発信できる環境を整えました。しかし、今年度ここまでの不登校児童生徒の出現率は、昨年度と比較して小・中学校とも微増となっています。

引き続き、学校と関係機関等が積極的に連携し、組織的な対応を行います。さらに、児童生徒が不登校になったとき、大きな悩みや不安を抱える保護者への支援も重要であり、将来の瀬戸内市を担う子どもたちが社会的に自立できるよう、保護者も含めて支える体制づくりに真摯に取り組んでいきます。

○ 女子野球タウン認定記念事業について

昨年10月、一般社団法人全日本女子野球連盟から岡山県内で初となる

女子野球タウンの認定を受けたことを記念し、11月23日にゆめトピア長船で、福岡ソフトバンクホークス元監督の工藤公康氏をお招きし、「野球と私の人生」と題して講演していただきました。当日は多くの方々にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。講演後には、「自分の可能性を信じてどれだけチャレンジできるか。という言葉がとても印象に残った。」、「人との出会いを大切にしていきたい。」、「継続力を大事にしていきたい。」などの感想をいただき、大変好評でした。

引き続き、本市を拠点に活動する女子硬式野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」と、女子野球を通じて、まちの魅力や地域資源等を市内外に広くPRし、地域活性化に取り組んでいきます。

○ 公民館活動について

県下でも広く知られている第38回備前長船菊花展が、10月16日から11月23日まで、ゆめトピア長船で開催されました。今回は菊の開花が遅れたため、会期を8日間延長しました。

会場には459鉢が展示され、端正な花が咲き誇り、訪れた方々に感動を味わっていただくことができました。

また、瀬戸内市文化祭が長船町公民館を始まりとして、牛窓町公民館及び中央公民館で開催され、公民館で日頃活動されている方々の学習成果が披

露されました。ゆめトピア長船に移転後、初めて開催した長船町公民館文化祭では、これまで経験がなかった大ホールでのステージ発表が実現し、発表者はもちろん来場者も楽しむことができ、会場も盛り上がりました。

さらに、第35回喜之助人形劇フェスタが、11月16日と17日に開催され、全国屈指の5団体のプロ人形劇団による公演に加え、130年の歴史を誇る益田糸操り人形保持者会による人形浄瑠璃が披露されました。来場者からは、「人形がまるで生きているように動いていた。」、「多くの公演を観ることができて楽しかった。」などの声が寄せられ、人形劇の面白さや奥深さを堪能していただきました。

○ 図書館について

今年度、協働提案事業として「瀬戸内市立図書館友の会せとうち・もみわフレンズ」と「NPO法人みんなの劇場・おかやま」の2団体と協力し、図書館の実利用率向上に取り組んでいます。

10月11日には、図書館の開館時間を午後8時30分まで延長し、コーヒー焙煎飲み比べセミナーなどを開催しました。また、12日には、中央公民館2階大ホールにおいて、大人と子どもが一緒に楽しむ落語会を開催しました。これらイベントの中で、新たに作成した図書館の「かんたん・べんりな使いかた！」などのパンフレットを配布し、イベントに関連する資料の

展示や紹介を行うことで、これまで図書館を利用していなかった方々にもその魅力を伝え、多様な学びの場として認識していただく機会となりました。

来年１月１７日と１８日にも、開館時間の延長を予定しており、利用者層の拡大を図るとともに、利用者のニーズにこたえる魅力的な図書館となるよう取り組んでいきます。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、人事２件、条例７件、補正予算１６件、その他９件、計３４件です。

よろしくご審議をいただき、適切なご決定をいただきますようお願い申し上げます。報告を終わらせていただきます。

令和６年１１月２６日

瀬戸内市長 武久 顕也